

梅毒 淋病
病人婦門專病膚皮
院病村松 町南平
話電 院病村松 町南平
話七〇一

石版印刷物
電話七五七番
所刷印マヤルマ 前驛平

理想的耐水耐熱接合劑
キングパスト
水か微温湯で溶せばすぐ使へる簡單な膠着劑
一名コナニカワ
四季を通じて一度ついたら膠着力は絶對的
理想的完全耐水耐熱の可驚威力を發揮し防腐の効果著し
小野屋藥店
電話四四番

常盤第一ノ磐城炭礦ノ石炭
大炭礦ナル磐城炭礦ノ石炭
ツ石炭トノ特長
一、目方ノ正確
二、品質ノ優良
三、配達ノ迅速
四、配達ノ迅速
ストーンアンナ良イ品ヲソナニ安ク賣ルルカト驚カレ一度使ヘバ永久ニ使ヘ下サルノガ當店石炭ト「コークス」ノ特長
石炭は正十貫目 一俵金六十五錢也
平驛前
阿部石炭商店
(電話二三七番)

切斷の苦しみなく……
ゆひはれ、やけど、淋病、梅毒、きりきり、乳はれ、くさ、りうまぢす
其他化膿するもの一切
發賣元 **阿康藥店**
縣社下古鍛冶町(電話四四番)
ラヒト
有偽物要注意

事務取扱新設廣告
住友生命保險株式會社(福島縣平町事務所)
今般住友生命保險株式會社福島縣事務所取扱所を左記に設置致し候間御大典を記念として聊か諸賢の意を表美する意味に於て進んで御加入あらん事を御希望すると共に當事務所に於ても記念品付大募集を致す可く候に付此期を逸せず御登成給はらん事を切に希望して止まざる次第に御座候 敬白
外務員募集(但し午前中御來談ありたし)
福島縣石城郡平町田町六〇
住友生命保險株式會社(平事務所)
主任 **福島寛利**

新築移轉
耳鼻咽喉科専門
場所(舊診療所裏通り)
合津醫院
平町仲田町(電話五五九)

外科新設
部長 **藤本順**
婦人科
院長 **木村寅次郎**
平町新川町 **木村醫院**
電話一六四番

金牌受領
郡山市開催 商工博覽會ニ於テ
銀牌受領
仙台市開催 東北産業博覽會ニ於テ
右ハ今回開催ノ兩博覽會ニ於テ入賞ノ榮ヲ擔ヘ申候御披露旁々今後一層ノ御引立御用命希上候
草野染工場
平町(電話三四八番)

店よき買
5丁目
夏の御用意
帽子 扇子
御用命は是非
ヤタリ
電話三五三番

氷水開業
暑中ハカマポコ製造休業
動力應用「アイスクリーム」
其他水豆や清涼飲料水數々求めに應じます
◆アイスクリームは御賣製造します……
藤市
二丁目(電話三〇五番)

常盤新聞
刊夕日七十二月六

常盤毎日新聞
夏の花と神話
▽花菖蒲 野邊の花の精がある日虹のお祭りをした時の事です。花の精の中に取られてうつくしく着かざつたうつくしい精が居りました。それは流水に紫色をばかした着物を着て居ました。たがたれもこの精が何の花の精か知る者がありませんでした。すると俄に雨が降り出した。すると俄に虹が現れまじつた。恰もこの精の心のやうに居並ぶ花の精たちに思はず「虹の使ひよ」と讚き音づれの使ひよ!と讚き花菖蒲の精であつたといふことです。花をふくんだ花菖蒲については古今集に次

のやうな歌があります。時鳥鳴くや五月のあやめ草あやめも知らぬ戀もするかな
▽百合 ジョージはヘルクスを不死身にしようと思つてソムスに命じて眠り薬を作らせて、神々の母なるジュノーにのませ、その眠つてゐる間にヘルクスをして不死の命を授かること云ふジュノーの乳をのませた時どうしたはずみかヘルクスは乳を二三滴地上にこぼした。するとその滴りが忽ち凝り固まつて眞白で世にも珍らしい清楚な花が開きました。百合の歌として北原白秋氏にこんな歌があります

けり
▽向日葵 クリーテイはヘリオス(太陽)を深く愛してゐました。ヘリオスは何時かオルカマス王の娘ルコトエを愛するやうになり、また、クリーテイは悲しんで王に訴へました。王は大變怒つて娘を牛埋めにしました。ヘリオスは非常に嘆き且クリーテイは不平になりました。クリーテイは其罪を悔ひ、九日九晩地上に伏たせ、許しを願ひました。遂に彼女は向日葵の花となり、今なほ暑い夏の日盛りに咲いては太陽を見まもつてゐるのであります。あるは又あだじ男が近づいて日まわりの花やぐりつらむか
これは中村憲吉氏の歌です

日刊 發行兼編輯人 川崎文治 本社下町番地(電話六三〇番) 印刷所 常盤毎日印刷部

平青年訓練所 大示威運動を行ふ

主旨の徹底を期し 來月一日全町を行進す

平青年訓練所は開設以來稀に見る好成绩を挙げ奮闘つゝあるが一般に訓練所の主旨目的が徹底しない爲め

入所生

少く折角の實の山を持ち腐れと爲すの

觀つたが最近吉田所長を始め山崎教官其他、馬目青年團長等も出動入所該當者ある家を戸別訪問勸誘に努めた結果漸く卅餘名を算するに至つたが更に訓練所を宣傳する爲め來月一日が

同勅令

發布の三週年記念日に相當する所より

同日午前八時半商業學校々庭に所員參集在郷軍人分會及び青年團各幹部も參加して平全町を行進し大示威運動の傍ら盛んに宣傳ビラを撒き午前十時より警中校庭に於て壯烈なる演習を行へ一般人に參觀せしむる計畫である

發起人の 顔ぶれ打合

製糸會社の 創立に關し

平町製糸工場建設に關し來月二日午前十時より郡會議室に販賣利用組合、養蠶組合及び町有志參集會々會社創立に關する發起人の顔ぶれ其他を打合せする由である

第三校問題 廿九日上提

戸數割と共に

平町戸數割審議の委員會は明日を以て終了し廿九日の本會議に附される筈であるが當日は第三小學校敷地に關する委員會の決定報告案も議題に上るべき模様である

分場記念祭 會期決定す

御大典を期す

石城郡神谷村縣立農事試験場石城分場は今年設立五週年に當るので御大典記念事業を行ふ計畫で種々準備を進めて居るが來る十一月二十三日より五日間野菜園藝一般農作物の外肥料展覽會を同試験分場及び平町元郡役所等に開催するが同時期に平町に於ても何等かの催しを開きたいと當局で目下奔走中である

四倉の 閉鎖延期

利用者が多い

石城販賣利用組合四倉南市場は最初の豫定では二十四

夏柄の色

今夏の色召物についての大體の傾向を申しませよ、何と

いふても御大典氣分の現れた明るいはやかな調子のものが迎へられますがたゞ單に華美なものといふよりも模様色目に華かな裡に

洗練され

た落ちつきと上品さの備つた優雅なもの

ものがよるこばれませよ、模様は紋様調子が基調となつた日本趣味が多く、また一面若向きには現代調子も可成りこのまゝ居ります、わけてもこぼり趣味の腹興

したことが著しい傾向でこれが模様、縞、縞といづれの方面にも

應用され

古典的な氣分を見せて居ります。次に

に緋は夏によさわしい單純なもの、即ち複雑な調子を單調に縞風、格子風、模段風といふやうに組立てたものが織物としても染物としても流行の中心となります。縞は相かはらず棒縞氣分のあつさりとしたもの、それに

多少格子

を切つたもので、たとへば鼠色とか

その他の薄色地に濃い鐵色納戸色、紫色等の棒縞、霞風の格子を切つたもの或は

五日限りにて取扱終了の方針であつたが本年は例年に比し幾分時期の遅れた關係や市場利用者が増加した事等によつて今以て少量ながら毎日數口の出荷を見てゐる有様でもあり殊に來月末日までは既に保管中の生繭を乾燥せねばならぬ殘務もあるので特に生産者の便を圖り乾燥期間中即ち本週末日までは多少に拘らずその取扱ひをなす筈である

泉村の

メロン栽培

逐年殖む行く

石城郡泉村のメロン栽培は非常に盛んになり聲價を昂めつゝあるが、目下の栽培者は同村における斯業の開祖ともいふべき玉露志賀澤之助、瀧尻吉田善八兩氏をはじめ吉田勝記、同寅之助同透氏等で昨年中の收穫七千圓を突破する豪勢さで一年と増収を見させてゐる

女房殺し

就縛せず

或ひは自殺か

昨報福島炭礦の女房殺し犯人市川嘉三郎(三)の行衛は依然不明にて或ひは山林に潜み自殺せるに非らずやとの説あり平署は引續き嚴探中であるが未だ何等の手懸りなく被害者伊藤モンの受けた傷は顔面及び左手、左肩の三ヶ所仲々の重傷で目下昏睡状態なるも一命は取り止めるかも知れないと

加藤 咄堂氏來る

四倉報國會へ

石城郡四倉報國會にては通俗講演の大家加藤咄堂氏を招ぎ來月一日午後三時より同町小學校に於て講演會を開く

故武川先生や

舊師を懐しむ

平第一小學校出身の童謡詩人島田氏來信

川崎先生

拙著「柴木集」に對し貴重なる「常盤毎日新聞」紙上に御紹介の勞を賜り誠に忝く存奉ります。甚だ未熟なる著、お目につけたら恐縮のどころ御同情ある御評言まことに感謝の至りです。御存知の如く小生は大正八年迄幼時より育つた平に居り、第一校の出身にてかつて講堂にて先生よりしばしば童話を伺ひ、なつかしき童話の國に夢を馳せたこといまま幽かな光をおびて腦裡に藏するところ、今回幸福にも先生より郷土平町に御紹介頂きたるは省みて思ひ淺からぬものがあります。平小學校にては故武川校長には特に恩慕を寄せ又一方ならぬ御ちやう愛を忝くし、三森猪之吉先生(現平町立町の米屋さん)赤塚末造先生(現大連市在住)にも同様最も御面倒を享けました。十六歳の少年の春、工學を志望して上京、學校の傍ら「アララギ」の島木赤彦氏に就いて歌を學び、のちまたたま病を得て鎌倉に移りて

湯本町長選舉

石城郡湯本町長後任問題は既報の如く人選難に陥り紛擾中のところ二十五日町長決定の町會を招集湯本一致小泉已代喜氏當選した

平町人事

- ▲出生
△古銀治町一三橋谷千代壽氏三女悦子
△南町一五 藤源太郎氏長女節子
△八幡小路五七 本多麟太郎氏二男公行
- ▲婚姻
△田町一 佐藤喜内氏長男芳昭
- ▲死亡
△四丁目三六 加藤アキ(四三)
△橋小路三三 鈴木タマ(八二)

佐藤甚右工門氏

前縣會議員草野順平氏嚴父佐藤甚右衛門氏は病氣のため石城郡赤井村大字西小川の自宅で療養中二十四日逝

募集

文藝其他投稿を募集します
去行年七十歳華儀は廿八日自宅出棺同村寶聚院にて執行する

坂本氏快方に

平町日刊警城新聞編輯長坂本茂雄氏は過日來耳下線炎ならびに骨膜炎を病み療養中の處、二十四日高久病院にて切開手術を行つたが経過良好である

泥負虫發生

桑園に姫象虫

石城郡川前村大字田代地内苗代に泥負虫が多數發生し稲苗は殆ど枯死に瀕してゐるので農民は恐慌を來し目下郡農會に依頼し驅除中であるが最近又々附近喬木桑園にヒメゾウムシが發生桑の芽を喰ひ盡してゐるので二十五日郡養蠶同業組合から成田技手出張驅除方法を講究中である

理髮組合規則

本年一月設置された平署管内理